

# ITW Performance Polymers

## 安全データシート REPAIR COMPOUND HARDENER

### 1: 化学品及び会社情報

#### 製品特定名

製品名 REPAIR COMPOUND HARDENER

製品番号 Y00022

#### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 硬化剤。

#### 安全データシートの供給者の詳細

供給者 ITW Performance Polymers  
Bay 150  
Shannon Industrial Estate  
Co. Clare  
Ireland  
V14 DF82  
353(61)771500  
353(61)471285  
customerservice.shannon@itwpp.com

#### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

### 2: 危険有害性の要約

#### 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

健康有害性 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分4 - H312 皮膚腐食性 区分1A - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1 - H317

環境有害性 水生環境有害性 (長期間) 区分3 - H412

#### GHS ラベル要素

##### 絵表示



##### 注意喚起語

危険

##### 危険有害性情報

H302+H312 飲み込んだり、皮膚に接触すると有毒。  
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

## REPAIR COMPOUND HARDENER

### 注意書き

P261 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。  
 P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。  
 P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断 / 手当てを受けること。

### 含有物

TETRAETHYLENEPENTAMINE

### 他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

## 3: 組成及び成分情報

### 混合物

TETRAETHYLENEPENTAMINE	1-5%
CAS番号: 112-57-2	
<b>分類</b> 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分4 - H312 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1 - H317 水生環境有害性 (長期間) 区分2 - H411	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

## 4: 応急措置

### 応急措置の説明

#### 一般情報

蒸気の吸入および皮膚ならびに眼との接触を避けること。事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察をうける (できればラベルを見せる)。

#### 吸入

直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が困難な場合には適切な訓練を受けた人員が酸素投与を行って被災者を補助してもよい。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。

#### 経口摂取

無理に吐かせないこと。嘔吐した場合には、嘔吐物が肺に侵入しないよう頭を低くしておかなければならない。多量の水を飲ませること。直ちに医師の手当てを受けること。

#### 皮膚接触

被災者を汚染源から移動させること。皮膚を石鹸と水で十分に洗うこと。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

#### 眼接触

コンタクトレンズがあれば取り外し瞼を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

#### 一般情報

記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

### 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

**医師に対する特別な注意事項** 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

## 5: 火災時の措置

### 消火剤

## REPAIR COMPOUND HARDENER

**適切な消火剤** 以下の消火剤を使用して消火すること：二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)。粉末消火剤、砂、ドロマイトなど。水。

### 化学品から生じる特定の危険有害性

**特有の危険有害性** 火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。

### 消火を行う者の保護

**消火活動中の保護措置** 風上に向かいヒュームを避ける。火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。封じ込めにより流去水を管理して下水道および水路に流入させないようにすること。

**消火を行う者を保護するための特別な保護具** 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

## 6: 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

**人体に対する注意事項** 適切に換気すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。皮膚および眼との接触を避ける。この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。

### 環境に対する注意事項

**環境に対する注意事項** 排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。水路への流出または制御不能の放出は直ちに環境省またはその他の管轄規制組織に報告しなければならない。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

**浄化方法** 不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。

### 他の項目の参照

**他の項目の参照** この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。

## 7: 取扱い及び保管上の注意

### 安全な取扱いのための予防措置

**使用上の予防措置** 適切に換気すること。皮膚および眼との接触を避ける。蒸気の吸入を避けること。容器の取扱いおよび開封の際は注意する。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。適切な換気および/または呼吸マスクを着用せずに密閉空間内で使用しないこと。排水路に流してはならない。優良個人衛生手順を実行しなければならない。

### 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

**保管上の予防措置** 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。

### 特定最終用途

**特定最終用途** この製品の意図された使用は項目1で詳しく述べられている。

## 8: ばく露防止及び保護措置

**成分に関する注釈** WEL = Workplace Exposure Limits

### ばく露防止

#### 保護具



**適切な設備対策** 適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。

## REPAIR COMPOUND HARDENER

<b>眼 / 顔面の保護</b>	リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。次の保護具を着用しなければならない：化学物質飛沫ゴーグル。
<b>手の保護</b>	次の材料で作られた保護手袋を着用すること：ゴムまたはプラスチック。
<b>その他の皮膚及び身体の保護</b>	接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。
<b>衛生措置</b>	洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。優良個人衛生手順を実行しなければならない。仕事場を離れる前に手と他の汚染された身体の部位を石鹸と水で洗うこと。皮膚が汚染された場合は直ちに洗うこと。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。
<b>呼吸器の保護</b>	換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。

### 9：物理的及び化学的性質

#### 物理的及び化学的性質に関する情報

<b>外観</b>	ペースト。
<b>色</b>	黄褐色。
<b>臭い</b>	かすかな臭い。アンモニア臭。
<b>pH</b>	pH (濃厚溶液) : alkaline @ 20 °C
<b>融点</b>	N/D °C
<b>初留点及び沸騰範囲</b>	>232 °C @
<b>引火点</b>	>93 °C タグクロードカップ。
<b>蒸発速度</b>	<<1 (BuAc=1)
<b>蒸気圧</b>	<0.01mmHg @ °C
<b>蒸気密度</b>	>1
<b>相対密度</b>	1.55 @ 20 °C
<b>溶解度</b>	N/D
<b>その他の情報</b>	データ無し。

### 10：安定性及び反応性

<b>反応性</b>	強酸化剤。
<b>安定性</b>	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
<b>危険有害性反応危険性</b>	データ無し。
<b>避けるべき条件</b>	熱、火花およびその他の着火源を避けること。長時間にわたる過剰な熱を避けること。高温または直射日光への暴露を避けること。
<b>混触危険物質</b>	次の物質との接触を避けること：強酸化剤。塩素化炭化水素臭。
<b>危険有害な分解生成物</b>	火災または高温は以下を生成する：含窒素ガス (NO <sub>x</sub> )。次の物質の酸化物：一酸化炭素 (CO)。二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )。以下の蒸気/ガス/ヒューム：アンモニアまたはアミン。

### 11：有害性情報

#### 有害性情報

## REPAIR COMPOUND HARDENER

急性毒性 - 経口

急性経口毒性推定値  
(ATE) (mg/kg) 500.0

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性推定値  
(ATE) (mg/kg) 1,100.0

**吸入** 呼吸器系を刺激する。

**経口摂取** 刺激臭。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：吐き気、嘔吐。胃痛。

**皮膚接触** 皮膚を通して吸収されるおそれがある。皮膚を刺激する。長期にわたりまたは反復して暴露すると重篤な刺激を引き起こすおそれがある。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。敏感な個人に感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。

**眼接触** 重篤な眼刺激を引き起こすおそれがある。単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：角膜損傷。

成分に関する毒性学的情報TETRAETHYLENEPENTAMINE急性毒性 - 経口

急性経口毒性 (LD<sub>50</sub>)  
mg/kg) 3,990.0

生物種 ラット

急性経口毒性推定値  
(ATE) (mg/kg) 500.0

QUARTZ発がん性

IARC発がん性 IARC グループ1 ヒトに対する発がん性が認められる。

**12: 環境影響情報**

**生態毒性** 環境への放出を避ける。製品は水生生物に対して有害かつ水生環境中で長期継続的悪影響を引き起こすおそれのある物質を含む。

**毒性** 魚に対する毒性は考えられない。

**残留性・分解性**  
残留性・分解性 この製品の分解性についてのデータは無い。

**生体蓄積性**  
生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

**土壌中の移動性**  
移動性 排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。

**他の有害影響**  
他の有害影響 データ無し。

**13: 廃棄上の注意**

## REPAIR COMPOUND HARDENER

### 廃棄上の注意

#### 一般情報

廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。

#### 廃棄方法

現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

#### 廃棄物クラス

08 04 99

### 14: 輸送上の注意

#### 一般事項

製品は危険物の輸送に関する国際規則 (IMDG、IATA、道路輸送/鉄道輸送) の適用範囲に含まれない。

#### 国連番号

該当しない。

#### 品名 (国連輸送名)

該当しない。

#### 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

輸送警告標識は要求されない。

#### 容器等級

該当しない。

#### 海洋汚染物質

#### 環境有害物質 / 海洋汚染物質

該当せず。

#### 使用者のための特別予防措置

該当しない。

MARPOL73/78 附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送 該当しない。

### 15: 適用法令

### 16: その他の情報

#### 改訂日

2021/03/22

#### 改訂版

13

#### 更新日

2018/12/12

#### 危険有害性情報の全文

H302 飲み込むと有害。  
 H312 皮膚に接触すると有害。  
 H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。  
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
 H318 重篤な眼の損傷。  
 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。  
 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

## REPAIR COMPOUND HARDENER

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明をするものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。